

### はじめに

JA0KR 小川さんから、30-40 年前の JARL NEWS をお借りしました。JA0 コール中頃までの局はご存知と思いますが、雑誌ではなくタブロイド版の新聞です。

アマチュア無線が普及し、大人だけでなく中高校生の趣味として広まった時代です。私自身がこの世界に足を踏み入れた(踏み外した?Hi)懐かしきころ、珍しい話題(トリビアなネタ)を多数発見しました。順番に紹介しますので、当時を知る人も知らない人にも楽しんでいただければ幸いです。

尚、内容に誤りがあればお知らせ下さい。(私が知らない・記憶にない時代もあります Hi) 表現は配慮しておりますが、稚拙な点・行き届かない点をご容赦下さい。

### JARL の QSL 転送は会員限定?

実は以前は JARL 会員以外でも利用可能でした。

正確に書けば、会員から非会員宛へ送ることは可能で、逆に非会員から会員へは転送不可でした。

但し、以下の制約がありました。

- 1) 非会員への転送は 1 年に 1 回のみ
- 2) 会員は 1 枚あたり一定の転送料を支払うこと

私も開局 2 年目くらいまでは非会員で、QSL はもっぱらダイレクトで交換(当時はハガキの郵送料が 7 円)していました。……会費に見合う分ほど QSL の発行枚数がなかったのです Hi。

JARL からの転送は、忘れたところに届いたものでした。

### さて、「転送料」は?

QSL1 枚あたり 1 円(1970 年ころ)でした。これを支払う方法が「ステッカー」でした。(白黒コピーでは分かりにくいでしょうが、水色 1 色の印刷です)



大きさはほぼ通常切手サイズ、無線機店で販売しており、1シート 100 枚でした。

裏にはノリがついており、水で QSL に貼り付けました。ノリの質は悪く、戦前戦後の切手のようでした Hi。

尚、ステッカーの無い非会員宛 QSL は翌月返送されます。

届いた QSL、保管箱から結構出てきました。5~8 月の E スポシーズンに QSO した 4~6、8 エリアのカードに結構貼ってあります。

50MHz AM、1W のハンディトランシーバが一般的で、



お金がある人が 10W 機を使っていました。「ハンディ」と言っても、単二電池 9 本を内蔵するので A4 サイズですし、「1W QRP です」とは誰も言いませんでした。

### ところが 1971 年に……

JARL が非会員宛の QSL 転送サービスを打ち切ることを決定しました。1970 年のデータによれば、非会員宛の発送は約 5 万 5 千局で約 28 万枚に及び、2 年前に比べ倍増だったそうです。

さらに翌年に郵便料金が値上げされることも決定を加速させたようです。現在よりは財政に余裕があったものと推察される JARL でも、コストアップには対処しきれませんでした。1972 年 4 月 1 日より正式実施されました。

打ち切り後も非会員宛の QSL は印をつけて発行者に返送してくれました。しかし、これも費用がかかるため、しばらくして非会員宛 QSL は返送せずに廃棄されるようになった(時期はこれから資料を探します)のです。

当時の記事がありましたので、次のページをご覧ください。

